

## 1. 実践研究テーマ

- ・ 幼小中一貫教育の仕組の中で、11年間を見通し、学びの連続性および指導の一貫性を持たせた教育活動をどのように実践するか。
- ・ 生徒の学びに向かう力の醸成のために、授業づくりをどのように工夫すればよいか。
- ・ 若手教員の授業力向上および授業改善に向けて、瀬戸中型メンター制をどのように進めていくか。
- ・ 基礎基本の習得をめざした家庭学習の充実に向けて、保護者とどのように連携していくか。

## 2. 取組の内容(協力校等との連携等を含む)

### (1) 学校の課題の抽出

- 教員全員によるアンケート結果の分析と課題の共有
  - ・ 教員組織として本事業の理解を進め、生徒や学校の課題解決に向けて、自らの授業内容についての振り返りの機会となる。
  - ・ 本校のメンター制(瀬戸輪COME)を通して日常的な生徒との関係づくりや授業の困り感の共有→メンターからの支援



課題解決に向けての研修

### (2) 校内研修における具体的実践内容の研究

- 校内研修を通して課題解決のための方策を考える。
  - ・ 教科と教科、学びと社会とのつながりを意識した授業改善
  - ・ 思考ツールを日常的に活用し、思考の過程を可視化する経験
  - ・ 教師主導から生徒を主語にした授業への転換



思考ツールの活用

### (3) 具体的実践

- ・ 思考ツールを活用した授業実践(国語)
- ・ 教科横断的な授業実践(国語&音楽)
- ・ AIドリルの試行(全学年)
- ・ おはよう!メッセージの取組(全学年・毎週木曜)
- ・ 視写チャレンジの取組(全学年・毎週火曜)



オープンスクール

### (4) 幼小中一貫教育における連携の推進

- ・ 11年間を見通した学習プランの構築(幼小中共有)
- ・ 小中協同授業の実践(英語・数学・国語)
- ・ 瀬戸中オープンスクールの開催(学びの連続性の体験)

## 3. 取組の成果

### ○ 教職員の変容

- (1) 若手教員の成長
  - ・ 授業実践意欲の向上
  - ・ 授業や単元における価値づけの力の向上
  - ・ 生徒観察力および課題抽出力の向上
- (2) 日常的に育て合う組織文化の醸成
  - ・ 相談できる雰囲気作り(瀬戸輪COME)
  - ・ グループ担任制の推進
  - ・ ベテランからの指導方法の継承

### ○ 児童生徒の変容

- (1) アンケート結果や生徒観察より
  - ・ 「学校が楽しい」と感じる生徒の増加
  - ・ 誰かのために貢献しようとする姿
  - ・ 放課後に自主的に学習する生徒の増加
- (2) 学びに向かう力の醸成
  - ・ 単元の目的を理解し意欲的に授業参加
  - ・ テーマに合致した思考ツールの選択
  - ・ AIドリルを家庭学習で活用する生徒